



ぞれ小面積に露出し 熊野酸性火成岩類に属する火成岩脈および火砕岩脈がこれらの地層を貫いて小弧状規模に分布する。

- 牟婁層群は各種のフリッシュ相からなり大きく3分される。下部は成層泥岩および泥質フリッシュを主とし 中部は塊状砂岩および砂質フリッシュが優勢な厚層である。上部は礫岩 含礫泥岩 含角礫泥岩の存在で特徴づけられ 岩相変化が著しい。
- 地質構造としては種々の規模と形態の褶曲構造が存在し 北部ほど変形度が強くなる傾向

がみられる。南部地域は漸層によるブロック化が顕著である。熊野層群および田辺層群は顕著な傾斜不整合関係で牟婁層群を覆っている。

5万分の1地質図幅の新刊

江 住  
ESUMI

5万分の1地質図幅  
地域地質研究報告

- 本報告には 約40図にわたる図面・写景 6葉にわたる巻末図版によって 地質の内容 各岩相の説明などが分りやすく行われているほか ソールマークと砂岩の鉱物組成 (カリ長石量および石英量)の全資料が5万分の1縮尺の付図として示されており さらに南隣の「田並」地域の海岸線をも含めて 全海岸線の牟婁層群の地質ルートマップ (縮尺 約7,500分の1)がソールマークおよび礫岩組成も含めてつけられている。そして隣接する「那智」および「田並」地域の牟婁層群の地質図までも5万分の1縮尺で示されるなど親切できわめて内容豊かな地域地質研究報告である。

- 最近 四万十累帯の堆積・構造の場の位置づけに関して種々の議論があるが 北隣の「栗栖川」図幅とともに 四万十累帯南帯の地質の実態を示すものとして重要な 地質図であろう。著者らは現在さらに北側の「竜神」地域の報告も準備中であり 各方面から大きな期待が寄せられている。

著 者 立石雅昭・別所孝範・原田哲朗・久富邦彦・井内美郎・石上知良・公文富士夫・中屋志津男・坂本隆彦・鈴木博之・徳岡隆夫

発 行 工業技術院 地質調査所

取扱先 東京地学協会 (03) 261-0809  
また 地学文献センター (0423) 62-5050  
その他 各地の書店でも購入できます

• 「江住」地域は紀伊半島の南端部に位置し 直接太平洋に面している。前年に発行された「栗栖川」地域の南に隣接し 今回同じ著者らによる くわしい地質図と研究報告が印刷公表されたことにより 紀伊半島南部地域の地質の実体が一躍明瞭となった。

• 地質は 大部分が四万十地向斜後期の堆積物である牟婁層群 (漸新～下部中新統) で占められ 地域の東端および西端部に熊野層群および田辺層群 (いずれも中新統) がそれ

地質ニュース	第310号	6月号
	昭和55年6月1日	定価 ¥500 千実費
編 集	林 久	発 行
発行人	株式会社 実業公報社	工業技術院 地質調査所
発行所	東京都千代田区九段南4の2の12	株式会社 実業公報社
	Tel. (03) 265-0951 (代表)	東京都千代田区九段南4の2の12
	振替口座 東京 32466	Tel. (03) 265-0951 (代表)
総発売元	大蔵省印刷局	振替口座 東京 32466
	東京都港区赤坂葵町2	政府刊行物仕入部
	Tel. (03) 582-4866	東京都港区赤坂葵町2
印刷所	共同印刷株式会社	Tel. (03) 582-4866